

令和元年度資金不足比率について

資金不足比率	—
--------	---

(資金不足が生じていないため、「—」を記載)

1. 算定の基礎

(単位：円)

資金の不足額	流動負債	1,773,430,007	(A)
	建設改良以外財源充当地方債	0	(B)
	流動資産	2,555,576,698	(C)
	解消可能資金不足額	0	(D)
	計	—	(E) $\left[\begin{array}{l} (A)+(B) \\ -(C)-(D) \end{array} \right]$ マイナスの場合は「—」
事業の規模	営業収益	3,175,004,694	(F)
	受託工事収益	0	(G)
	計	3,175,004,694	(H) ((F)-(G))

2. 計算式

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額 (E)}}{\text{事業の規模 (H)}}$$

(参考)

経営健全化基準値 資金不足比率 20%